

町民

参加

多くの町民に
参加を促す

傍聴等

＜役職、職種関係なく、町民全てに平等な発言機会の確保＞
町民1人1人の意見、提案等を丁寧に吸い上げる場

7000人の復興会議

【目的等】

- ・復興まちづくり計画を策定するための基盤情報として、町民1人1人の思いや意見、提案を丁寧に吸い上げる。
- ・町民の自立的復興活動を支援する。

※町民の委員は、一町民の立場で参加する。

①ワークショップ会議【復興会議】

少人数型のワークショップ式で話しやすい場を作り、個人の意見を数多、丁寧に吸い上げる。

②インターネット会議

会議での情報を町民に公開し、遠隔地や若者の意見を吸い上げるためツール。随時受け付け、コミュニケーションの場ともなる。

③紙面

個人に専用ノートを配布し、日記形式で自由に要望や意見を記載してもらう。12月に回収する。

ワーキンググループ

(各地域、テーマごとに随時設置し開催)

意見
提案

町民の意見を聞いて、公の立場で考える場

復興まちづくり委員会

【組織】

委員長：三井所清典芝浦工大名誉教授
副委員長：岡村隆夫双葉町教育委員会委員長
副委員長：鈴木浩福島大学名誉教授
双葉町関係団体の長、町民代表者、町職員、学識者の45名で構成

【任務】

- 7000人の復興会議での町民の意見を踏まえて、下記項目を検討し、町長に報告
- ・町の復旧及び復興のあるべき姿等の基本方針
- ・仮の町を含めた復興計画に掲げる施策及び事業に関すること
- ・その他復興計画の策定に必要な事項

計画案
具申

部会

(9月末の復興会議中間報告を受けて、テーマごとに複数設置)

町長

協議

町議会